

活動報告

団体名	災害応援にゃんこ隊
活動名	コミュニティ形成時期における住民（子ども）参加型の交流事業
活動期間	2016年10月～2017年3月
活動の成果	まだまだ、復興は道半ばと言える。子どもの笑顔が大人の元気に通じるということ、これまでの中越地震、東日本大震災の支援からも実感している。それと同じように、集会場（みんなの家）での活動を通じて、普段、交流会などに参加しない高齢者も参加するようになった点は大きな成果と言える。また、地震から1年に近づいた3月の訪問では、アニバーサリー反応で学校に行けない、夜になると涙が止まらないなどの症状が現れる小学生もいた。そのように、1年経っても、現れる症状に対して、本人、保護者への継続的な支援が必要と考える。
寄付者へのメッセージ	とにかく、息の長い支援となるように、今後も子どもたちに寄り添っていきたいと思います。

（活動のようす）

